

『図書館だより』

3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	㉑	22	23	24	25
26	㉗	28	29	30	31	①

○印 休館日 祝日(21日)月曜日
館内整理日4月1日

季節ごとに年ごとに新しい風が吹いてきます。新しいことを始めるには少しの勇氣と大きな支えが必要です。いつもと一筋違う道に迷い込むのも、自分の新しい面を発見する良い機会となるでしょう。いつもと違う分野の本を読むこともおもしろいですね。

◆今月中の新着図書案内

◇一般図書

輸送 井上光晴
灰色の街 逢坂 剛
女が振り返る昭和の歴史上坂冬子
怪人二十面相・伝 北村 想



ニワトリ
電気紙芝居殺人事件 椎名 誠
高円寺純情商店街 辻 真先

輪舞 ねじめ正一
消えたミステリー 林 京子

由熙 森 瑤子
バベットの晩餐会 デイネーセン 季 良枝

アメリカン・ドリーム グリーン 赤川次郎
クレオパトラの葬列 西村 望

砂嵐 望
あかちゃんの本箱 D・パトラー 黒岩重吾

藤ノ木古墳と六世紀 朝日新聞
新天皇の足音 千田夏光

消費税こうやればいい山本雄二郎
知らない差がつく年金の上手な受け方 平井宏之

主婦を襲う心の病 日本人の体質外国人の体質
子どものよそいき 37 藤田紀美子

ママの手作りの入園入学グッズ
子供元氣メニユー偏食からの脱出
「NO」と言える日本 盛田昭夫

松田聖子論 小倉千加子
利休そして織部 池田瓢阿

世界を動かした名言 講談社
図説リニア新幹線 藤沢研二

外一一一冊

◇児童図書

図鑑 日本の地理 全六巻
ぼくらの地図旅行
心とからだ健康百科 上・下巻
新幹線
ブルートレイン
いじめっコウタはあまえっコウタ
お母さんのひみつ

まぼろしの花が咲いた
ニハオといわなかったころ
約束の国への長い旅
こんな学校あったらいいな
三びきのこぶた

黒い兄弟
ア・サー・ランサムのロシア昔話
三びきのくま

外二七冊

一般図書 一四一冊
児童図書 四八冊

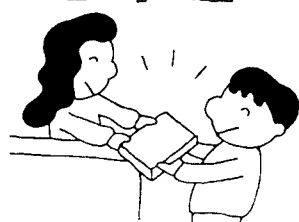
●新着カセットテープ●

グリムメルヒェン 全五巻
夏服を着た女たち
桃尻語訳・枕草子
ニューヨーク・スケッチブック
英語カセット文庫

○白雪姫
○眠り姫・赤ずきんちゃん
○かぐや姫

TBS文芸図書館 全十巻

まもろう
返却日



子供会シリーズ (19)

子どもにまかせる



九歳は親別れの時であることを前回書きました。九歳位になったら、親の世界から飛び出して、仲間同士の中で生きられる子どもにしたいということです。これによって、自主性も育ってくるのです。だから自己主張もし、反抗もするのです。この時期を中間反抗期とか、ギャングエイジという人もいます。

小学校の三、四年生位になって、親の言う事をよく聞き、反抗もなく、おとなしい、素直な子がいます。大人の目から見ると申し分のない子なのです。そういう子の中に、自主性の育っていない子がいるのです。自主性というものは、自分の事を、自分で決めて自分で実行できるという事です。

この自主性はどのようにしたら育てる事ができるでしょう。それは一言でいうなら、子どもに「まかせろ。」という事です。まかせることによって自主性が育つというよいでしょう。まかせるとい

事は、同年令位の子ならできる事を全部子どもにまかせて、世話をやかないという事です。例えば、起きる事、寝る事、洗面する事、歯を磨く事など出来ると思われる生活の可成の事を子どもに総てまかせてしまふのです。その事をしても、しなくても一つ一つ世話をやかないという事です。しなければ子ども自身の生活に影響します。その影響を受けて、自分で気が付き、自分で考え、実行するようになるのです。これは「放任」ではありません。子どもの行動をよく見ているが、口を出したり手を貸したりしないということです。

子どもに生活をまかせない親は過干渉であり、過保護であるといえます。過干渉は子どもの生活に口をだす事です。これは親に支配される事であり、一見よい子のように見えても、大人の命令がないと何も出来ない、無為な状況になり、大人がいけないと不安が募ったり、問題が出ると逃避したりします。過保護も自主性を阻害します。家庭で大事に育てると、自分で決定したり、実行したりできない、引っ込み思案の子になると思います。

教育相談室 43-11111

内線 214